



平成 20 年 9 月 2 日

金沢 21 世紀美術館  
「金沢アートプラットホーム 2008」  
塩田千春作品《His Chair》公開について(お知らせ)

金沢 21 世紀美術館では、今年の 10 月 4 日から 12 月 7 日まで金沢の街を舞台に参加型の展覧会「金沢アートプラットホーム 2008」を開催します。それに先立ち、金沢美術工芸大学で塩田千春作品《His Chair》を公開しますので、お知らせします。

記

■塩田千春《His Chair》展示

- ・ 日時:2008 年 9 月 2 日(火)~12 月 7 日(日) 10:00~17:00  
月曜休(ただし 10/13、11/3,24 は開場、10/14、11/4,25 は閉場)
- ・ 会場:金沢美術工芸大学エントランスホール

His Chair (2008 年)

この作品は、旧東ベルリンで取り壊されたり改築された建物の窓を集め、その窓だけで作られたものです。2005 年にデンマークで行われた「おとぎ話よ永遠に—H.C.アンデルセンに捧ぐ」という展覧会で発表された作品に近いものですが、当時、「彼」とは、展覧会のテーマであったアンデルセンだったのに対し、いまや「彼」とは、かつてそこにいた誰か、という意味で使われています。

1989 年、ドイツを東西に分断したベルリンの壁が崩壊し、人々はベルリンという街に来るべき 21 世紀への希望を託しました。今もなお、建物の改築や建て替えが続いている混沌とした日常の中で、塩田さんはある日、ガラス付きの窓を拾いました。おそらくこの窓を通して、隔たれた西を見つめていたであろう人間と窓の記憶に関心を寄せ、自らが住む街、旧東ベルリンで、2002 年頃から、たったひとりで 1 日 20 件以上の建物や工事現場を回って窓を探し、ひとときは「窓に心を囚われてしまった」というほどにのめりこんで、2006 年までに 1,000 枚以上の窓を集めたのです。これらの窓の一枚いちまいには、時代の空気や人々の暮らしが染み付き、かつていたであろう人間の存在を、今はもう目に見えない不在によって際立たせています。



塩田千春 Chiharu Shiota  
His Chair (2008)  
photo: Sunhi Mang

金沢アートプラットホーム 2008 見守る者の心と見守られる者の心をつなぐために 2008年10月4日(土)~12月7日(日)

金沢の街を舞台に、市民と一緒に作品をつくり上げる参加型の展覧会。公園、商店街や空家などを会場に、約20名のアーティストが展示やワークショップを行います。

問合せ先 076-220-2814 (担当:●●、●●) www.kanazawa21.jp/exhibit/k\_plat/ 主催 金沢21世紀美術館(財)金沢美術会館(財)



塩田千春 Chiharu Shiota

1972年大阪生まれ、現在ベルリン在住。

京都精華大学在学中に国立キャンベラ美術大学に留学。卒業後に、ドイツ・ブラウンシュバイク美術大学で、現代美術作家マリーナ・アブラモヴィッチに、またベルリン芸術大学ではレベッカ・ホルンに師事。セビリア・ビエンナーレをはじめ、国際展への参加やギャラリーでの個展多数。9月15日までは国立国際美術館（大阪）にて、「精神の呼吸」展を開催中。



© Chiharu Shiota

作品ご取材の際は、金沢21世紀美術館広報担当者(下記参照)まで必ずご連絡下さい。

問い合わせ先

〒920-8509 金沢市広坂 1-2-1

金沢21世紀美術館 落合

TEL:076-220-2811 FAX:076-220-2806

金沢アートプラットホーム2008 自分たちの生きる場所を自分たちでつくるために 2008年10月4日(土)~12月7日(日)

金沢の街を舞台に、市民と一緒に作品をつくり上げる参加型の展覧会。公園、商店街や空家などを会場に、約20名のアーティストが展示やワークショップを行います。

問合せ先 076-220-2814 (担当:●●、●●) [www.kanazawa21.jp/exhibit/k\\_plat/](http://www.kanazawa21.jp/exhibit/k_plat/) 主催 金沢21世紀美術館〔財〕金沢美術創造財団

